「公共建築の日」2026
フォトコンテスト
受賞作品集

―― 人が集(つど)う建物 ――

「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会
一般社団法人公共建築協会 北海道地区事務局
https://www.pbaweb.jp/association/branch/hokkaido/photocon/

「公共建築の日」2026フォトコンテスト 審査結果報告

本年のフォトコンテストは、2026（令和8）年7月1日に応募要項を発表し、応募部門を「デジタルカメラ部門」、「携帯,スマホ部門」の2部門で、2025（令和7）年10月以降に撮影した作品を対象に、「人が集う建物」をテーマとして本年7月1日から9月30日まで応募を受け付けました。

その結果、2部門とも昨年の応募総数を若干下回る応募となりましたが、多数の応募を頂いたことにお礼申し上げます。

「デジタルカメラ部門」　59点（2025年[令和7年]：63点）
「携帯・スマホ部門」　81点（2025年[令和7年]：88点）

2026（令和7）年10月16日に開催された審査委員会において、厳正なる審査の結果、次の作品が選考されました。
来年のフォトコンテストに引き続き多数の応募を賜ることを実行委員会一同祈念しております。

「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会
（事務局：一般社団法人公共建築協会北海道地区事務局）

●受賞作品一覧

【デジタルカメラ部門】

賞	作品タイトル	対象公共建築	受賞者
グランプリ	待ち遠しいね	こども本の森 札幌・北大	山内　佳子
準グランプリ	残照のピラミッド	ガラスのピラミッド（モエレ沼公園）	吉本　昇
準グランプリ	夕焼けのJRY	ふるさと館JRY（湧別町）	鈴木　徹
佳　作	秋色の旧札幌停車場	旧札幌停車場（復元）	只石　秀樹
佳　作	「若い女の像」のある風景	札幌市資料館	日野　透
佳　作	静寂に刻を止めて	旧日本郵船株式会社小樽支店	松崎　真也
佳　作	朝日さす重厚なる歴史	札幌市資料館	新村　本広

【携帯・スマホ部門】

賞	作品タイトル	対象公共建築	受賞者
特　選	時を映す水鏡	豊平館（中島公園）	島田　美千代
入　選	90年を歩く	稚内港北防波堤ドーム	東間　仁美
入　選	スポットライト	五稜郭タワー	金　昭賢
入　選	夕暮れ刻	大和ハウスプレミストドーム	大場　蓮介
奨励賞	冬の煌めき	旭川駅	佐々木　郁太郎
奨励賞	静寂閑雅	箱館奉行所	田中 秀樹
奨励賞	光に浸る	札幌文化芸術劇場 hitaru	並河　雅仁
奨励賞	燈る	赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎）	大場　悠晴

●「公共建築の日」2026フォトコンテスト審査委員会

（敬称略）

委員長	佐藤　雅英	（公社）日本写真家協会会員 NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク顧問
委員	滝本　悦郎	国土交通省北海道開発局営繕部長
	松本　周介	国土交通省北海道開発局営繕部営繕計画課長
	坂井　宗司	北海道建設部建築局建築整備課長
	松本　丈史	札幌市都市局建築部建築保全課長 （代理：重野　智　札幌市都市局建築部建築保全課企画管理係長）

●審査風景











「公共建築の日」2026 フォトコンテスト総評



審査委員長 ● 佐藤　雅英

「公共建築の日」フォトコンテストは、2003（平成15）年に第1回を開催して以来、「建築と人間のかかわり」を主題に関連するテーマを設定し、実施してきた。建築は人に利用され、愛されることによりその価値が高まっていくとの認識にたってのものである。公共建築を題材に風景や、そこに集う人たちの様子などの魅力ある写真を期待し、今年も募集テーマを「人が集う建物」とした。24回目を迎えた「公共建築の日」フォトコンテストは、140点もの作品が寄せられた。参加者の年齢構成も10代から70代までと幅広く、道内はもとより海外からの参加もあり、このコンテストが広く認知されてきたことを感じる。撮影対象も全道に広がり、歴史的な建築や身近な公共建築などさまざまであった。アマチュアのレベルが高いといわれる北海道であるが、今回も全体的にレベルの高い作品が多く、応募いただいた皆様に心より感謝申し上げたい。

今回の応募作品はどれもが力作で、歴史的建築、現代建築それぞれの建物の捉え方に特徴があり、新たな着眼点による構図、光のとらえ方の工夫などいずれも優劣つけがたい作品ばかりであった。ただやはり基本は建築プラスそこでの人間の営みがあり、かかわりを感じられる作品になることが望まれる。人に愛されて人に支持されている建築であることが表現できたらさらに魅力のある作品になるような気がした。詳細については講評をお読みいただきたい。

来年の「公共建築の日」フォトコンテストでは、先人が築いた道内の歴史的建築遺産を含め北海道内各地の身近な公共建築のもつ多様性を素材として生かし、人々とのかかわりが表現されている作品が多く寄せられることを期待している。

最後に、安心に暮らせる日常とともに建築や街中に人々の明るい笑い声がこだまする日が続くことを切に念じて総評を書き終えることにしたい。

PROFILE
1946 年稚内市生まれ、札幌在住。(公社)日本写真家協会会員、NPO 法人北海道を発信する写真家ネットワーク顧問。国内外の芸術家、文化人、匠の肖像、都市の歴史、建築、文化などを撮り続け、東京コダックフォトサロン、韓国、日本大使館広報文化院、中国魯迅美術館などで数多くの写真展を開催。特に 2001 年同時多発テロ前後を捉えた『NEW YORK NEW YORK Peace and Love』は話題となる。2000 年、現代日本の写真(ARTBOX international)日本を代表する写真家 110 名に選抜される。2014 年、パリ日本年日本選抜作家展(フランス・パリ「モナリザギャラリー」)、2015 年、「目で楽しむ音楽展」(札幌芸術の森美術館)、2016 年、500m美術館 Vol.18「記憶と記録の札幌」(地下歩道空間)。

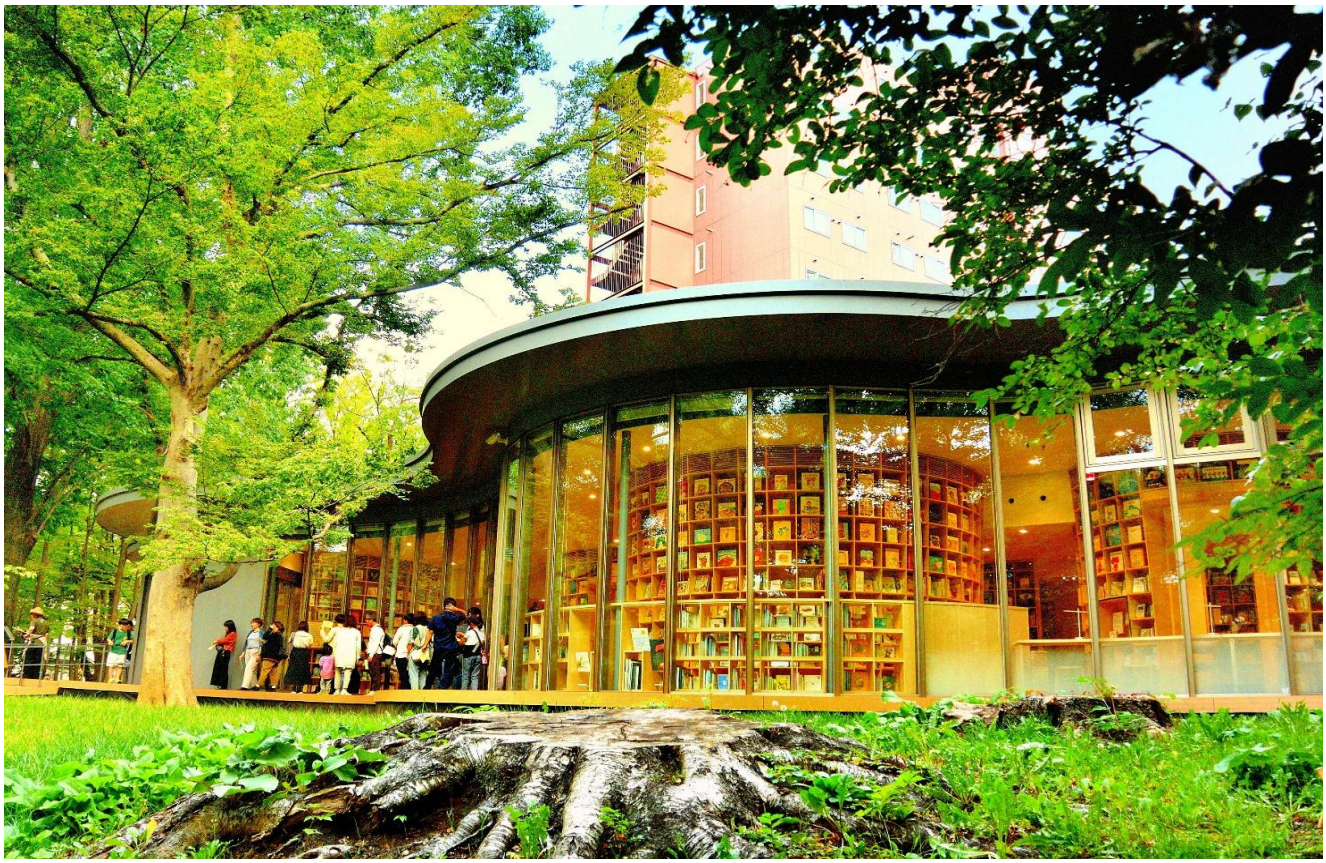
デジタルカメラ部門

グランプリ

待ち遠しいね

山内　佳子

こども本の森 札幌・北大



建築家の設計コンセプトを理解した写真だと思う。色彩的にも緑とのバランスが良く、切り株を中心に据えた構図もとても良い。場合によってはガラスの反射で中の本棚が見えなくなるが、しっかり見えているところも評価が高くなる点である。来館者が建物に入るのを待っている感じもよく出ており素晴らしい作品である。

携帯・スマホ部門

特選

時を映す水鏡

島田　美千代

豊平館（中島公園）



撮影している立ち位置によるアングル、下の池を背景にした花と建物との構図が良い。青、黄、緑による色彩バランスとトーンも良く魅力を感じる。豊平館と後ろに映っている近代的なホテルとの対比も現代を感じさせ、写真のタイトルを表現する一部と思える良い作品となっている。

デジタルカメラ部門

準グランプリ

残照のピラミッド

吉本　昇

ガラスのピラミッド（モエレ沼公園）



トリミングが上手にされており、空の量と建物のバランスが良い。ガラスのテクスチャーもしっかりと表現されている。ピラミッドの一面に光を反射させることで、空間の奥行とその広がりが感じられ、構図的にも面白い優れた作品である。

デジタルカメラ部門

準グランプリ

夕焼けのJRY

鈴木　徹

ふるさと館JRY（湧別町）



影となる部分でもきちんと質感や色合いまで表現されている。微妙なトーンの変化や夕焼け雲の色合いの変化、流れるような感じをうまく捉えられている。シンボリックなデザインと自然との調和が感じられる素敵な作品である。

デジタルカメラ部門

佳作

秋色の旧札幌停車場

只石　秀樹

旧札幌停車場（復元）



近景と遠景をうまく使っている。構図的にも建物・紅葉・青空のバランスも良く落ち着いた作品である。もう少し明るさをコントロールできれば建物の素材感が表現できてさらに良かったと思う。

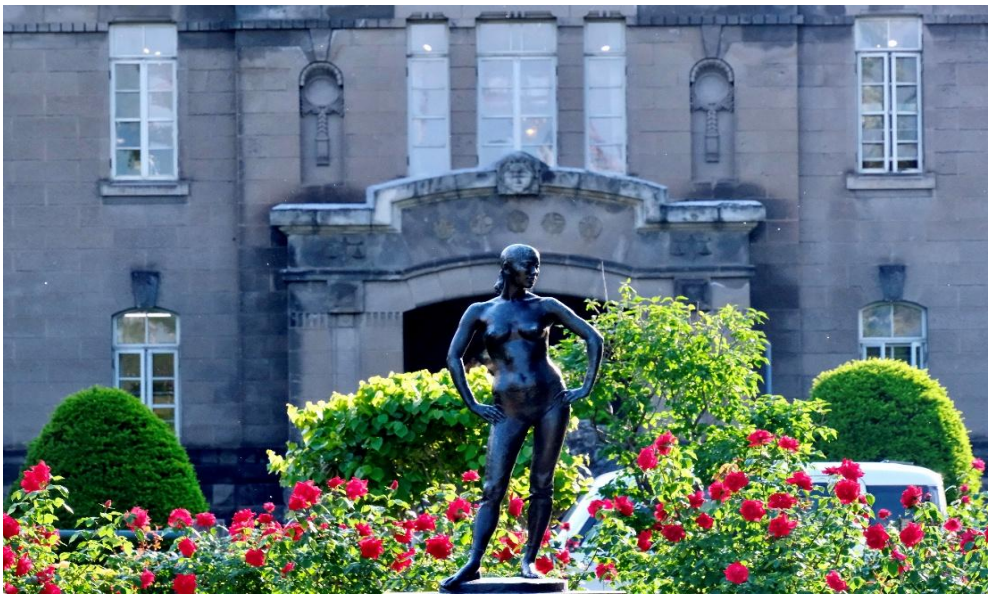
デジタルカメラ部門

佳作

「若い女の像」のある風景

日野　透

札幌市資料館



大胆な構図が今までにない表情を資料館に与えている。札幌軟石の色をよくとらえており赤い花の色が良いアクセントになって、建築と彫刻のバランスが詩の題材のような作品である。

デジタルカメラ部門

佳作

静寂に刻を止めて

松崎　真也

旧日本郵船株式会社小樽支店



水面の揺らめきが静まり返ったタイミングがタイトルを見事に表現されている綺麗な作品である。今までにないアングルからの撮影で時間ごとの表情の変化が期待でき、これからが楽しみな作品である。

デジタルカメラ部門

佳作

朝日さす重厚なる歴史

新村　本広

札幌市資料館



太陽の光をうまく使って建物の持つ質感をとらえ表現されている。写真の基本である光のコントロールを考えて臨場感を演出したコントラストの妙といえる作品となっている。

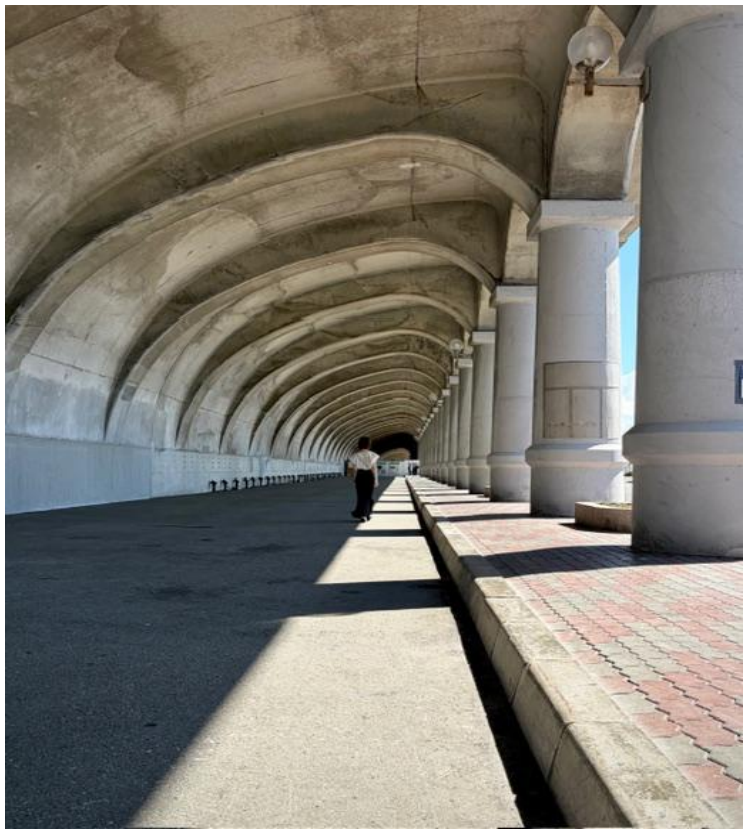
携帯・スマホ部門

入選

90年を歩く

東間　仁美

稚内港北防波堤ドーム



人の後ろ姿を映しこむことで写真が際立ち、後ろ姿がいろいろな想像をかきたてる効果がでている。人の大きさや影のバランスも丁度よく、人を配置することによって、写真をより生かすこととなった作品である。

携帯・スマホ部門

入選

スポットライト

金　昭賢

五稜郭タワー



桜が満開の時期で、桜が多すぎるかなと思われたが、シンプルな形状の建物を桜で両側から包み込むような構図としたのが良い。構図のバランスや光の当たり方、太陽の位置も考えて撮影された素敵な作品である。

携帯・スマホ部門

入選

夕暮れ刻

大場　蓮介

大和ハウスプレミストドーム



構図的にバランスが良く、色的にも夕暮れ時の静寂さと多様な陰影が建物内でのダイナミックな動きを象徴しているような感じのする作品である。もう少し人の営み、例えばランニングしている人がいるとかがあればもっと上位になると思われる作品である。

携帯・スマホ部門

奨励賞

冬の煌めき

佐々木　郁太郎

旭川駅



夜景の中でも建物のテクスチャーや駅前広場の仕上げも含め良く分かるように写し出されている。構図的には駅だけでなく他の建物も取り込むことで、駅のスケール感が表現されていて良い。広場にもう少し人影があればさらに良い作品になったと思われる。

携帯・スマホ部門

奨励賞

静寂閑雅

田中 秀樹

箱館奉行所



光のとらえ方が秀逸な作品である。瓦や壁の材料のテクスチャーが良く表れている。タイトルに作品の撮影意図が表現されているが、人の活動の気配がもう少し表現されているとさらに良いものになった。

携帯・スマホ部門

奨励賞

光に浸る

並河　雅仁

札幌文化芸術劇場 hitaru



色彩的に面白い作品である。構図的に下の観客席のボリュームを増やし、来場者のシルエットを写しこむなどして人の営みを表現できればさらに良い作品になったと思われる。

携帯・スマホ部門

奨励賞

燈る

大場　悠晴

赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎）



レンガの色が映えるタイミングで撮られており、構図的にも、周囲の建物の写り方を考え、撮影ポイントを決めた意図が伝わる良い作品である。人の賑わいが感じられるとさらに良い作品になったと思う。

「公共建築の日」……公共建築が国民生活に一層密着したより良いものとなることを目指し、建築の基本的な構造を象徴する4本の「柱」のイメージや国会議事堂の完成（昭和11年11月）などから、11月11日を「公共建築の日」、そして11月を「公共建築月間」とし、さまざまなイベントを実施しています。「公共建築の日」や「公共建築月間」についてはウェブサイト（https://www.pbaweb.jp/pb_date/eventes/）をご覧ください。

「公共建築の日」2026
フォトコンテスト
受賞作品集

https://www.pbaweb.jp/association/branch/hokkaido/photocon/

本作品集に掲載された写真、文章等を、
一般社団法人公共建築協会ならびに著作権者の承認なしに
無断で複写またはスキャニング、データベースへの入力、
インターネットでの掲載等をすることを禁じます。
©2026一般社団法人公共建築協会